

## トヨタ車体、「ダカールラリー2021 サウジアラビア」に参戦 ～ランドクルーザーシリーズ70周年の年に、市販車部門8連覇に挑む～

トヨタ車体株式会社（本社：愛知県刈谷市 代表取締役・社長：増井 敬二）のラリーチームであるチームランドクルーザー・トヨタオートボデー（以下、TLC）は、2021年1月3日から1月15日までサウジアラビアを舞台に開催される『ダカールラリー2021』の市販車部門に、当社が開発・生産を担うランドクルーザー200シリーズのラリー車2台で参戦し、同部門8連覇に挑戦します。

ランドクルーザーシリーズは、初代の発売から来年で70周年を迎えます。この間、世界約170の国や地域で販売され、多くの人々の生活や仕事を支え、命を運ぶクルマとして活躍しています。

当社は、前身となったアラコでのダカールラリー初参戦から、今大会が27回目の参戦となります。『もっといいランドクルーザーづくり』のために、ダカールラリーという地球を舞台にした壮大なテストコースで、ランドクルーザーを鍛え上げてきました。

ダカールラリーは、昨年初めて中東サウジアラビアで開催されました。サウジアラビアの広大な砂丘地帯や砂の下に隠れる固い岩盤路など、大変過酷な状況下でも最後まで走り切るランドクルーザーの性能の高さを、改めて証明することができました。今大会でも、中東をはじめとする世界中のお客様にランドクルーザーの信頼性と走破性、堅牢性を実感してもらえるような大会にすることが、TLCの使命だと考えています。

当社は、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大の中においても、感染対策をしっかりとった上で、チームメンバーの安全を第一に参戦し、ダカールラリーやTLCを応援していただける多くのランドクルーザーファン、クルマファンの皆様に、元気や勇気を感じていただけるよう、全社をあげてTLCをサポートします。

今大会は社員ドライバーを核に新たなメンバーを加え、さらにパワーアップしたチーム体制としました。これらメンバーとパートナー企業様、地域の皆様、ランドクルーザーに関わる全ての皆様の力を結集し8連覇に挑むとともに、もっといいクルマづくりで世界中のくらしに笑顔を届けてまいります。



## 1.チーム名

Team Land Cruiser TOYOTA AUTO BODY (チームランドクルーザー・トヨタオートボデー) ※通称TLC

## 2.ダカールラリー2021参戦車両

1号車 (ゼッケンNo.340)



2号車 (ゼッケンNo.345)



フロント



リア



サイド

### 【ランドクルーザー200 ダカールラリー2021仕様車スペック】

項目	スペック内容
ベース車両型式	V D J 200
エンジン型式	1VD-FTV型
総排気量	4,461cc
全長 / 全幅 / 全高	4,950mm/1,970mm/1,910mm
最高出力	300ps以上
最大トルク	800N・m以上
ステアリング	ラック & ピニオン式
サスペンション	前/ダブルウィッシュボーン式独立懸架コイルスプリング (BOS製) 後/トレーリングリンク車軸式コイルスプリング (中央発條製)
ショックアブソーバー	リザーバタンク付複筒ガス式 (BOS製)
ブレーキ	前後ベンチレーテッドディスク (ブレーキパッドのみ: エンドレス製)
トランスミッション	6速オートマチック <6 Super ECT>
タイヤサイズ	285/70R17 (BF Goodrich Mud-Terrain KM-3)
ホイール	マグネシウム鍛造 17インチ×7.5J (ENKEI製)
駆動方式	4輪駆動 (フルタイム4WD)

(上記スペックは1号車、2号車共通)

### 3.ダカールラリー2021参戦体制

#### 【チームメンバープロフィール】

2020年12月15日時点

体制	氏名	年齢	備考	
チーム代表	スギウラ カズナリ 杉浦 一成	 59歳	トヨタ車体(株)コーポレート本部 領域長 2017年4月よりチーム代表に就任。 「厳しいときこそチャレンジ、勝つために戦い抜く！」 の決意のもと、チームを支える	
チーム監督	カクニ ヨシノ 角谷 裕司	 47歳	トヨタ車体(株)広報室 元ハンドボール全日本代表という異色の 経歴を持つ。2015年よりチームを率い、 冷静な判断力でチームを部門7連覇に導いた	
340号車	ドライバー	ミウラ アキラ 三浦 昂	 37歳	トヨタ車体(株)広報室 社員ナビゲーターとして2007年大会からTLCで ダカールラリーに参戦。2016年大会よりドライバーに 転向し、2018年大会では市販車部門優勝を獲得
	ナビゲーター	ローラン・リットロイスター Laurent Lichtleucher	 44歳	TLC契約ナビゲーター 世界各国のドライバーとコンビを組んできた 豊富な経験をもつ。三浦とのコンビは6回目を迎え、 三浦と2度目の優勝をめざす
345号車	ドライバー	ロナルド・バソ Ronald Basso	 39歳	TLC契約ドライバー 2010年から2017年大会で8回のダカール参戦。 2015年以降、TLCテストドライバーとしてチーム活動に スポットで参加。 2021年大会でTLCドライバーとして初参戦
	ナビゲーター	ジャン・ミッシェル・ポラト Jean Michel Polato	 49歳	TLC契約ナビゲーター 市販車・改造車カテゴリーで多くの出場経験がある ダカール界のベテランナビゲーター。 2001年大会では総合5位入賞を果たす。 2021年大会でTLCナビゲーターとして初参戦
チーフメカニック	フィリップ・シャロワ Philippe Challoy	 61歳	TLC契約メカニック 1995年のチーム発足以来、メカニック陣を 統括してきた敏腕チーフメカニック。 メカニックの腕はもちろんのこと、 その人柄によりメンバーからの信頼も厚い	
日本人 メカニック	ワサ タツヤ 岩浅 龍矢	 31歳	福岡トヨタ自動車(株) 2020年大会では優勝したラリー車の担当メカニックとして チームの部門7連覇に貢献。 日本人メカニックのリーダーとして、3度目の ダカールラリーに挑戦	
	カクニ ヨシノ 中武 佑太	 34歳	福岡トヨタ自動車(株) 2019年4月よりチームに参加。 ダカールラリー2020でメカデビューを果たし、 チームの即戦力として活躍。2度目のダカールラリー挑戦	

その他、メカニック・スタッフ含む 計19名体制を予定

## 4.参戦カテゴリー

### 市販車部門ディーゼルクラス(下表太枠部)

	部門	クラス
オート(自動車)	市販車	ディーゼル
		ガソリン
	改造車	
トラック		
2輪(バイク)		

※TLCはガソリンクラスを含めた市販車部門での優勝と部門8連覇を目標に参戦します

### 【参考資料1:TLCの過去の戦歴】 ・現在は、2014年大会から市販車部門7連覇中

開催年	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004
車両	ランドクルーザー80				ランドクルーザー100					
成績	市販車ディーゼルクラス			市販車ディーゼルクラス						リタイア
	4位	優勝	2位	優勝						
備考	アラコとして参戦									

6連覇

開催年	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
車両	ランドクルーザー100				ランドクルーザー200											
成績	市販車部門		大会		市販車部門		市販車部門		市販車部門							
	優勝		中止		優勝		2位		優勝							
備考	2005年大会よりトヨタ車体として参戦															

6連覇

7連覇

### 【参考資料2:大会概要（ダカールラリー2021 サウジアラビア）】

- ・開催期間：2021年1月3日～1月15日（計13日間、12ステージ）
- ・開催国：サウジアラビア王国  
スタート/ジエッダ ～ 中間休息日/ハイル ～ ゴール/ジエッダ
- ・総走行距離：約7646km（内、競技区間は約4767kmを予定）

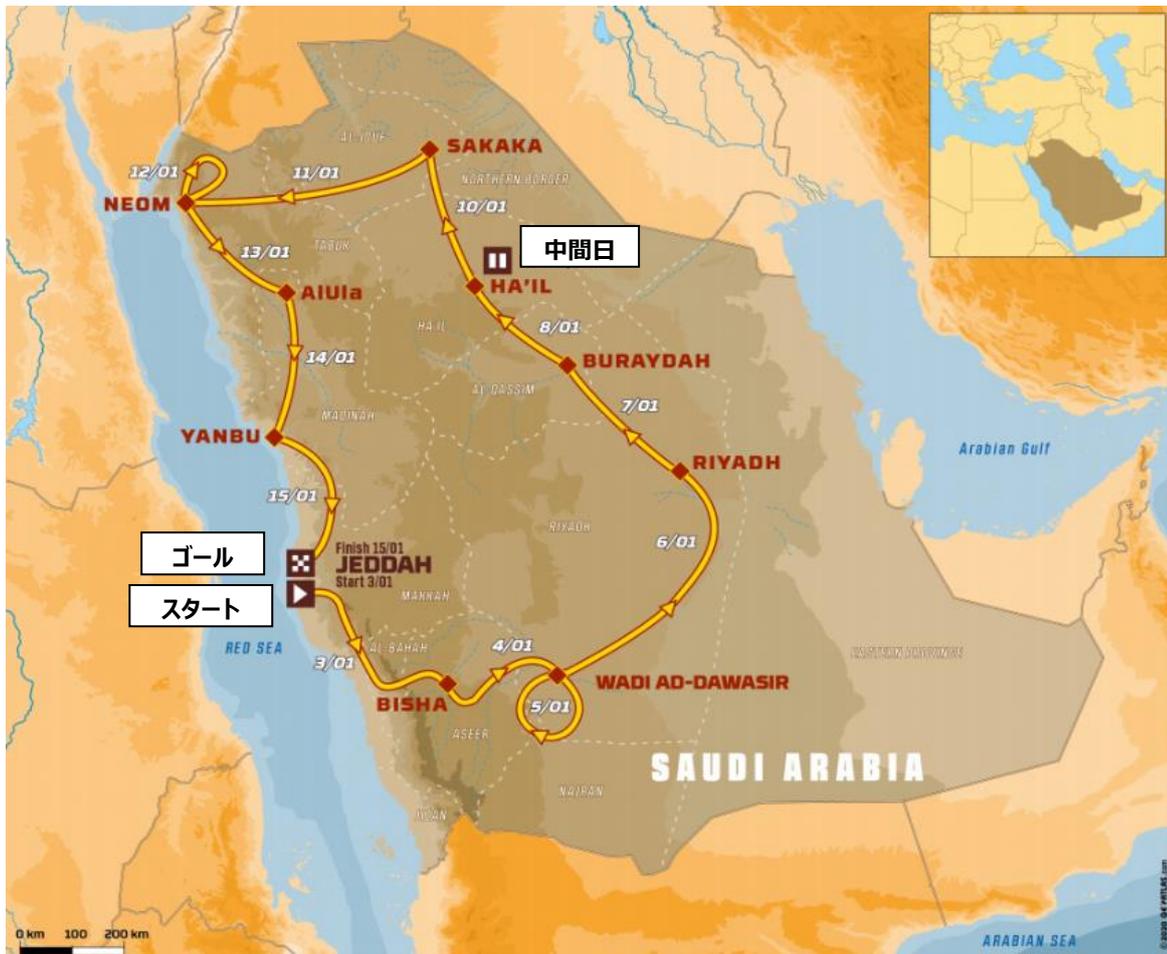
ダカールラリーは創世期のアフリカ大陸、2009年大会で舞台を移した南米大陸に続く第3章として、2020年大会より中東でラリーがはじまりました。そして、2021年大会も中東サウジアラビアがラリーの舞台となります。開催国は変わらない一方で、ルートは前回大会で使用されたものから一新され、未知の砂漠で新たな冒険が繰り広げられます。

2021年大会はサウジアラビア第2の都市ジエッダにて、スタート順位を決めるプロローグランから始まり、1月3日から本格的なステージがスタート。前半は硬い石と砂の入り混じる難しい路面を中心にセクションが生まれ、速度域が高くテクニカルなSSも登場し、気の抜けない展開となりそうです。

後半に入ると、いきなりのマラソンステージを経て、紅海沿いの美しく険しい砂の渓谷を進むルートが用意されています。そして、終盤戦には大会最長SSが登場し、2021年大会は最後の難関を迎えます。

砂に隠れた岩など、選手に高い集中力を求められる終盤ステージは、真の強さを試される舞台となります。

(ダカールラリー2021大会ルートマップ)



世界のくらしに、笑顔を届けたい

